

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

また、春が来て、生命が踊りだす。

完璧な技術と卓越した音楽性を
あわせ持つ現代最高峰の名医
ポール・メイエ (クラリネット)

©Shin Yamagishi

色彩感あふれる音楽づくりで
世界の聴衆を魅了するフランスの名匠
シルヴァン・カンブルラン (読響常任指揮者)

SYLVAIN CAMBRELING, Conductor / PAUL MEYER, Clarinet
TCHAIKOVSKY: From "Nutcracker" (March, Trepak, Dance of the Sugar Plum Fairy, and Waltz of the flowers)
MOZART: Clarinet Concerto in A major, K. 622 / DEBBUSSY: Première rhapsodie
STRAVINSKY:

Le sacre du printemps

POPULAR SERIES, No. 611 / Friday, 13th April, 2018 19:00 / Suntory Hall
YOKOHAMA MINATO MIRAI HOLIDAY POPULAR SERIES, No. 103 / Saturday, 14th April, 2018 14:00 / Yokohama Minato Mirai Hall

カンブルランが振る二大バレエ音楽《くるみ割り人形》&《春の祭典》

チャイコフスキー: バレエ音楽「くるみ割り人形」から
「行進曲」「トレパック」「こんぺい糖の踊り」「花のフルーツ」
モーツァルト: クラリネット協奏曲 イ長調 K.622
ドビュッシー: クラリネットと管弦楽のための第1狂詩曲
ストラヴィンスキー: 春の祭典

読売日本交響楽団 第611回 名曲シリーズ

2018 4.13 (金) 19:00
サントリーホール

S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ソールドアウト

読売日本交響楽団 第103回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ

2018 4.14 (土) 14:00
横浜みなとみらいホール

S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥4,000

読響チケットセンター
0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)
<http://yomikyo.or.jp/>



圧倒的な高みに達したカンブルラン&読響 「春の祭典」で冴えるカンブルラン・マジック!

音楽評論家 萩谷由喜子

2010年4月、常任指揮者就任

記念演奏会でカンブルランの採り上げた曲の一つが、この

4月の2つの名曲シリーズで演奏される「春の祭典」だった。あれから8年。マエストロは演奏会ごとに読響から芳醇な響きを引き出してきた。その頂点が、昨年11月のメシアンのおペラ「アツシジの聖フランチェスコ」演奏会形式上演だった。一人の聖職者の自然と人間への愛の生涯を、音楽のみで感動的に描き切ったカンブルランの手腕と読響のハイグレードな演奏力は今も記憶に新しい。両者の達したこの圧倒的な高みを引き続いて体験したい。その願いが4月に叶う。この2公演でカンブルランは、チャイコフスキーの「くるみ割り人形」抜粋、モーツァルトのクラリネット協奏曲、ドビュッシーのクラリネットと管弦楽のための第1狂詩曲、そして、ストラヴィンスキーの「春の祭典」を演奏する。カンブルランは最近チャイコフスキーに積極的で、今回は後半の「春の祭典」を意識して、初の「くるみ割り人形」が前半に置かれた。ロシアのバレエ音楽つながりである。モーツァルトとドビュッシーのソリスト、ポール・メイエは現役最高奏者の一人。今回は奥仏を代表する2曲を同日に味わえるのがポイントだ。

後半の「春の祭典」は、前述のように常任指揮者就任記念演奏会で客席を興奮のつぼと化した記念碑的演目だが、実はカンブルランの来日直前にアイスランド南部で火山噴火が起き、航空便の欠航が相次いだ。そんな中、この誠実なマエストロは乗り継ぎを重ね、約60時間もかけて日本に来てくれたのだ。その後、初演100周年となる2013年、9月の東京芸術劇場公演でも同曲で再び熱狂の渦を巻き起こした。今回はそれに次ぐ3度目の「ハルサイ」である。彼特有の管楽器のゆたかな表情、弦の潤いある響き、明晰なリズム処理が期待できるのはもとより、さまざまな特殊楽器を加えた大編成オーケストラからクリアな大音響を生み出すカンブルラン・マジックに、今回も耳を奪われるに違いない。

読響常任指揮者
シルヴァン・カンブルラン
SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得ている。現在、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クランクフォーラム・ウィーンの前首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ歌劇場とフランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデン・バイエルンSWR響の首席指揮者を歴任。世界の一流楽団に客演するほか、ザルツブルク音楽祭などでも活躍している。17年11月には読響とメシアンのおペラ「アツシジの聖フランチェスコ」(演奏会形式)を披露し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位に選出されるなど絶賛された。



クラリネット
ポール・メイエ
PAUL MEYER, Clarinet

©Shin Yamagishi

名実ともに世界のトップに立つクラリネット奏者。1965年アルザス生まれ。パリ高等音楽院とバーゼル音楽院で学び、84年にニューヨークのカーネギー・ホールにデビュー。トゥーロン国際コンクールで優勝。リヨン歌劇場とパリ・オペラ座の首席奏者として活動後、ソロ活動に専念。今日まで世界有数のソリストとして活躍している。協奏曲のレパートリーは、古典派からベリオ、ペンデレツキら現代作品まで約100曲にのぼる。室内楽でも、ロストロポーヴィチ、クレーメル、ヨーヨー・マ、バシュメットらと共演している。バユヤルルーラ現代最高のフランスの木管奏者達と「レ・ヴァン・フランセ」を結成し、人気を博している。CDも多数リリースし、高い評価を得ている。近年は指揮者としても活躍している。

<p>読売日本交響楽団 第611回 名曲シリーズ</p> <p>2018年 4月13日 (金) 19時開演</p>	<p>サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001</p> <p>S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000</p> <p>● 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ● 東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分</p>
<p>読売日本交響楽団 第103回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ</p> <p>2018年 4月14日 (土) 14時開演</p>	<p>横浜みなとみらいホール 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-6 Tel. 045-682-2020</p> <p>S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000</p> <p>● 東急東横線直通・みなとみらい線「みなとみらい」駅 クイーンズスクエア横浜連絡口 徒歩3分 ● JR京浜東北線・根岸線、横浜市営地下鉄「桜木町」駅 動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥 徒歩12分</p>

【託児サービス】横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。(株)明日香045-316-5539 学生券:学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<p>読響チケットセンター 0570-00-4390</p> <p>*10時~18時・年中無休</p>	<p>読響チケットWEB http://yomikyo.pia.jp/</p> <p>*座席選択可/チケット郵送料無料</p>		
<p>プレイガイド</p>	<p>チケットぴあ 0570-02-9999</p>	<p>サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(13日)</p>	<p>横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(14日)</p>